

小夜、風太、春馬。

父親として、夫として、このままではだめだ、このままではだめになる、と何度も自問自答し、悩み、試行錯誤したのだけど、もうあきらめて、力を抜くことにしました。たぶん、これからほとんど寝たきりになってしまうと思うので、「父さんは、この前の誕生日で82歳になったんだ」と思ってもらえると、気が楽になります。そう思っていてもらえれば、布団に横たわっていても、負い目を感じることもなく過ごすことが出来る。「神様の部下(奴隷)」という異常な仕事を長く続けたせいで、普通の人の何倍、何十倍ものスピードで老化劣化が進行してしまい、もう体力も気力も残っていないのです。52年生きただけで真っ白な灰となって燃え尽きてしまっただけで、人生が良いのか悪いのか分かりませんが、仕方ないよね。パパの人生は、自分で選んだ人生ではなく、神様が決めて、神様から与えられた人生だから。そういう意味での立ち位置は、イエス・キリストと同じです。イエスは神様を選んで、最後は十字架にはりつけ。パパは神様を選んで、最後は燃え尽きた抜け殻になりました。

ママはまだバリバリの現役だし、風太と春馬は、これからが人生の本番です。もう、自分のことは何も出来ないけれど、出来る限り、家族の応援、手伝いはします。たぶん、それが残されたパパの仕事です。年老いたおじいさんなりに、家族の役に立つため、精いっぱいがんばります。

パパも今日で人生を区切る。春馬、卒業おめでとうー！

2021年3月25日(木曜日)